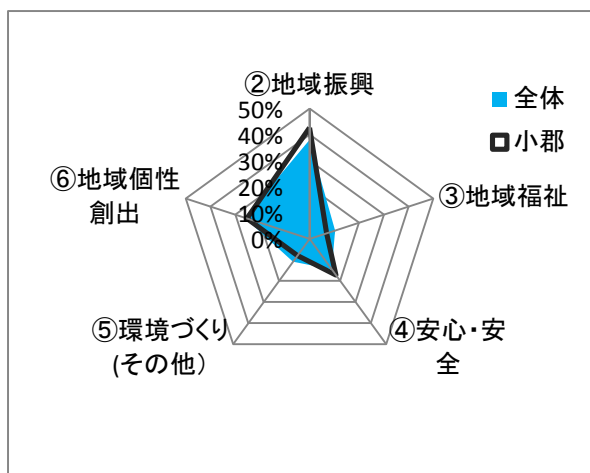


おごおり地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成27年度)

■ 地域の情報

地域人口	25,540人	自治会数	65
世帯数	11,262世帯	自治会加入率	92.68%

※数値は、平成28年4月1日のもの



■ 決算状況

交付金配分枠	15,647,000 円
交付金決算額	15,647,000 円
その他収入	684 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

① 協議会運営	4,873,000 円
② 地域振興	3,336,488 円
③ 地域福祉	537,805 円
④ 安心・安全	1,346,174 円
⑤ 環境づくり(土木工事)	2,954,000 円
⑤ 環境づくり(その他)	621,862 円
⑥ 地域個性創出	1,978,355 円
決算総額	15,647,684 円

■ 地域づくりの活動方針(テーマ)

「ふれあい」「生きがい」「支えあい」で心豊かに暮らせる地域づくり～みんなが笑顔で暮らせるまち～

■ 総括

地域づくり計画に沿って事業を行ってきたが、5年前に事務局で作成した計画のため、実働と計画とが一致しない活動が多い中、地域課題が何か、小郡の誇りや残していきたい物は何かというものが、第2次地域づくり計画を策定していく中で見えてきたと思う。

■ 分野別事業名

① 協議会運営	事務局人件費、事務費
② 地域振興	地域住民のニーズの取りまとめ、地域のブランド化、情報発信、伝統文化の発掘継承、教育機関との連携
③ 地域福祉	高齢者の生きがいづくり、健康づくり、子育て支援
④ 安心・安全	校区ごとの防災支援事業、防犯・防災、交通安全事業
⑤ 環境づくり	土木工事、除草・清掃作業、環境マナーアップ事業、花いっぱい運動、地域環境パトロール
⑥ 地域個性創出	実行委員会の立ち上げ、PR作戦

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	地域ニーズの取りまとめ	決算額	704,672円
	目的	第2次地域づくり計画の策定		
	実施内容	アンケート調査、地域座談会、ワークショップ、聞き取り調査、シンポジウム等		
	実施時期	平成27年4月～平成28年1月		
	参加人数	約800名		
	成果	小学校区ごとに出向いて行き座談会を行ったり、シンポジウムを行なったことにより、様々な住民の意見が反映された第2次地域づくり計画が策定できた。		
	評価	座談会等で行政からの説明と、これまで地域づくり協議会が行ってきた事業等を併せて説明することによって、それに対する意見等を広く住民から拾い上げることが出来たため、住民意見に沿った第2次地域づくり計画が策定できた。		
	今後に向けて	多くの人の意見が反映された計画を、現状維持で満足するのではなく、毎年新しい地域課題を拾い上げるための活動や仕組みも重要度が増してくるため、行政とも連携して取り組む。		
②	事業名	防災意識の啓発	決算額	666,670円
	目的	地域内防災意識の啓発		
	実施内容	自主防災会立ち上げ支援、防災講演会、防災訓練等		
	実施時期	平成27年4月～平成28年3月		
	参加人数	約1,000名		
	成果	実際に地域で避難訓練を行ってきたため、少しずつ住民の防災・減災への意識が浸透してきた		
	評価	部会員のみならず、地域住民も参加しての自主防災研修会を行政との協働で行い、自主防災組織を立ち上げ方や心得を学んだり、住民と共に部会がよく勉強し支援していた。		
	今後に向けて	交流センターのみならず、市としての協力を受けた研修会等を今後も続けていく必要がある。		
③	事業名	伝統文化の発掘継承	決算額	661,674円
	目的	地域の伝統文化を知り、継承する		
	実施内容	「明治維新と小郡」のガイドブック作成		
	実施時期	平成27年4月～平成28年3月		
	参加人数	延べ50名		
	成果	市の事業として推進している明治維新150年記念事業に向けて、ガイドブック「明治維新と小郡」を作成した。		
	評価	部会員・事務局・交流センター職員に加え、小郡在住の方3名に編集委員として協力いただき、約2年をかけて話し合いや調査を行い、これまでクローズアップされていなかった小郡の伝統文化や歴史を後世に残すガイドブックが出来た。		
	今後に向けて	小郡の様々な歴史や文化を広く住民に知ってもらい、明治維新150年記念事業に向けてガイドブックを活用した小郡文化の発掘継承(講演会、史跡めぐり等)を行うとともに、その後も地域に根付いた活動となる必要がある。		